**（様式１）**

**スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート**

**[団体名：長野県セーリング連盟]**

**[記載日：２０２２年　３月６日]**

**【対応状況に係る自己評価】**

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 対応状況 |
| **原則１ 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。** | |
| (1) 法人格を有する団体は，団体に適用される法令を遵守しているか。 | 非該当 |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  適正なガバナンス体制のさらなる確保の為、出来るだけ早い機会に法人化を目指  す。時期については自己説明の状況により判断し決定する。 | |
| (2) 法人格を有しない団体は，団体としての実体を備え，団体の規約等を遵守しているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  長野県セーリング連盟規約、経理規程他諸規程も整備されて運営している。  理事会を年2回以上通常4回開催している。  役員を総会において選出している。 | |
| (3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  セーリングに関する活動において公共施設の条例、法令は遵守している。 | |
| (4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  連盟規約に準じた役員構成となっている。連盟規約に準じ、定期総会は年1回、理事会は2回以上開催されている。実態を勘案した役員体制の整備、強化の検討がされている。 | |
| **原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。** | |
| (1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  ・基本方針は、連盟規約第3条及び第４条に記載し、HPにて公開済み。 | |
| **原則3** **暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。** | |
| (1) 役職員に対し，コンプライアンス教育を実施しているか，又はコン  プライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  役員に対しJASF主催へのコンプライアンス研修受講を強力に要請。受講者も増えている。今後も計画的に役員へのコンプライアンス研修受講を予定している。 | |
| (2) 指導者，競技者等に対し，コンプライアンス教育を実施している  か，又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 | B |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  指導者にはコンプライアンスに関する研修会資料を提供したり、研修会への案内をしているが、今年度競技者とのコンプライアンスに対する話し合いはあまり持っていない。今後練習日の天候不良の日などに実施する。 | |
| **原則４ 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。** | |
| (1) 財務・経理の処理を適切に行い，公正な会計原則を遵守しているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  経理規程、旅費・謝金規程の整備完了し、2022.4.1より施行。  会計知識があるメンバーの理事参画により、財務・経理機能を強化し、ダブルチェックや通帳と印鑑を別にして管理している。 | |
| (2) 国庫補助金等の利用に関し，適正な使用のために求められる法令，  ガイドライン等を遵守しているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  経理規程、旅費・謝金規程の整備完了し、2022.4.1施行。  経理規程に基づき、補助金も含めた会計処理の適正処理、透明化を推進。 | |
| (3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。 | B |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  経理規程、旅費・謝金規程の整備完了し、2022.4.1施行。  会計知識があるメンバーの理事参画により、財務・経理機能を強化。  年1回の監事による監査を実施。  関連規程が整備出来たところで今後規定通りの運用を進めていきたいと思っていたがまだ会計業務担当理事はチェックにとどまっている。 | |
| **原則５ 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに，組織運営に係る情報を積極的に開示することにより，組織運営の透明性の確保を図るべきである。** | |
| (1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。 | 対象外 |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  法令に基づく情報開示の対象はないが、年度ごとの事業報告・決算報告、事業計画・予算等開示していくことにしている。 | |
| (2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。 | A |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  HPにて、規約/規程、組織体制/役員名簿、ガバナンスコード自己説明、事業報告/決算報告、事業計画/予算及び国体出場選手選考基準を開示中。  今後も組織運営にかかわる情報の積極的な開示を進める。 | |
| **原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合，ガバナンスコード＜NF向け＞の個別の規定についても，その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。** | |
| 自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード＜NF向け＞の規定があるか（ある場合は下欄に記述） | |
| 原則■について | 非該当 |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）  まずは原則5までを整備し、その上で原則６を検討する。 | |